

三谷 幸吉

神戸市兵庫区御通二丁目七八ノ一

大正十二年盛夏

先は御自愛を祈り上げます

一日之遑つて居ります

其に、何時如何なる形式に歸結するやに深、興味を以て一日

へ居る様に感じられてなりました

現今は何にか年毎に弱者が暴威を振ひ弱者に壓迫せし追害やを加

減せし何にか一年毎に弱くたる様に感じられてなりました

本年も秋晴の期に参りました